

事業名	防災ポータルサイト・防災アプリ開設
ここがポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 8 年 4 月 1 日に防災ポータルサイトと防災アプリをリリース ・ 防災情報を集約し、避難所情報や避難指示などの緊急情報をリアルタイムで発信 ・ 防災アプリは、プッシュ通知機能や位置情報機能を有しており、速やかに情報を届ける

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

- ・ 豊島区は、巨大ターミナル駅“池袋”を有する高密都市であり、災害発生時には情報の錯綜やデマの情報等による混乱が生じることが懸念されることから、正確な状況把握と区民への情報発信、避難指示等の対処措置の迅速かつ的確な実施が求められている。
- ・ 令和7年10月に被災情報を収集・集約する「防災情報システム」を導入し、令和8年4月1日に区民・在勤・在学者・来街者に、情報を円滑に提供する「防災ポータルサイト」「防災アプリ」をリリース。

2. 目的

- ・ 防災に係る情報を集約し、情報へのアクセスを平易化、一人ひとりの防災力の強化を図る。

3. 内容

- ・ 災害対策本部が入力した被害情報や指示連絡を一元で管理・確認する「防災情報システム」と、「防災ポータルサイト」・「防災アプリ」を連動することで、リアルタイムで正確に災害時の情報を届ける。

【防災ポータルサイトの特徴】

- ・ 閲覧にダウンロードが不要なため、発災時に区民・来街者等多くの方に情報を届ける。
- ・ 災害時は救援センター（避難所）や一時滞在施設、緊急医療救護所等の開設状況や受入可否、混雑状況等を一覧とマップで公開。さらに、平時から気象情報や交通情報、ライフライン等の情報をリアルタイムで収集・提供する。
- ・ 全ての人と同じ情報を得られるように 131 言語に対応している。
- ・ 平時からも、区からの防災に関するお知らせや、学びのコンテンツを提供して、防災意識の啓発を図る。

【防災アプリの特徴】

- ・ 防災ポータルサイトと同様の災害情報を提供することに加え、情報の更新を即座に伝えるプッシュ通知機能が付いており、より確実に情報を届ける。
- ・ 自分の居場所から区内で最寄りの避難所がわかる位置情報機能を搭載。

【「災害発生時における情報発信の協力に関する協定」概要】

- ・ 4 月 27 日に区内の街頭ビジョンを管理する企業 6 社（株式会社アニメイト、株式会社サンシャインシティ、株式会社タイトー、東京建物株式会社、株式会社パルコ、株式会社ビックカメラ）と協定を締結する。
- ・ 混乱が生じやすい災害時においても、街頭ビジョンを通じて、帰宅困難者や来街者に情報発信を行い、情報を届ける。日本語、英語、中国語、韓国語の 4 言語に対応しており、防災ポータルサイトにアクセスできるよう誘導する。